

## 2025年度 発達支援つむぎ香取台ルーム(児童発達支援) スタッフアンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。スタッフアンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
今後も支援の質向上に努めでまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最高4.7点)	改善策・ご意見への対応について
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.0	
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.9	質の高い支援は、スタッフ一人ひとりの心身の健康と休息があつてこそ成り立ちます。業務分担や人員配置、効率的な働き方について見直し、全員が適切に休憩を取れる環境を目指します。どうすれば実現できるか、皆さんで対話を重ねていきましょう。
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.0	
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.7	支援の質に直結する重要な項目であり、内部研修の充実はもちろん、外部研修への参加機会も含めて、研修の方を見直す必要があります。どのような研修が必要か、皆で対話し、改善に努めてまいります。
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		アプリ導入による連絡の効率化、外部研修の機会、事務・研修時間の確保、人員配置、情報共有の迅速化など、多岐にわたる具体的なご提案ありがとうございます。これらは、働きやすい環境づくりと支援の質向上の両面で重要です。優先順位も含め、何から取り組めるか、実現可能な方法を皆で対話し、改善を進めています。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもや保護者、訪問先施設のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.9	適切なアセスメントに基づいた支援ができるよう、事例検討や勉強会の時間を確保し、スタッフ間で対話し、分析の視点を揃える努力をしています。
	Q8	支援の内容は、支援目標に沿ったものになっているか。	3.7	日々の活動が、計画書に定めた目標としっかりと結びついているか、定期的に振り返る必要があります。支援の意図やねらいについて、日々の対話やミーティングを通じて確認合い、支援の質を高めています。
	Q9	支援の開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.0	
	Q10	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.9	日々の支援の質を高めるためには、気づきを共有する振り返りの時間が不可欠です。忙しい業務の中でも、この時間を確実に確保し、内容を充実させる必要があります。振り返りの方法や時間帯、共有の仕組みについて、より実効性のある形を皆で対話し、決めてまいります。
	Q11	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができるか。	3.9	モニタリングの時期や方法、進捗管理のあり方を再確認し、確実に実施できるよう、チームで対話しながら進めています。
関係機関や保護者様との連携について	Q12	各事業のガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)あるいは保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」を踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4.0	
	Q13	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		情報共有の仕組み確立、スタッフ個々の知識向上、保育ベースの環境下での丁寧な支援の必要性、専門職の見立てと共に、保護者様からのヒアリング機会の増加など、支援の核に関わるご提案に感謝いたします。 頂いた貴重な提案をもとに、私たちが目指す支援の姿について改めて対話し、具体的な行動に移してまいります。
	Q14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.4	
	Q15	所属の幼稚園や保育園など連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.9	双方向の密な連携が求められています。 保育所等訪問支援の役割も踏まえ、私たちがハブとなり、より積極的な情報共有ができるよう、具体的な連携方法について皆で対話し、改善に努めています。
	Q16	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、あるいは就園・就学時の移行などの際には、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.3	
保護者様などお子さまについての対応	Q17	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.2	大きな課題であると重く受け止めています。 私たちの専門性を高め、適切な支援を提供するために、外部機関からの助言や研修の機会は不可欠です。どの機関とどのような連携が必要か、皆で対話し、積極的な連携強化に努めています。
	Q18	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.2	大きな課題と認識しています。 地域の中で私たちが果たすべき役割を再確認し、どのように連携を深めていくか、積極的な参加方法も含めてスタッフ間で対話し、改善してまいります。
	Q19	障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	4.7	
	Q20	保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.3	
	Q21	関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		積極的な連携の必要性、相談支援の充実、双方性の意識、研修情報の共有、費用補助など、連携の「量」と「質」の向上に関するご意見ありがとうございます。 ご指摘の通り、密な連携は不可欠です。どのような手段や体制が効果的か、皆で対話し、実行していくことで改善に努めています。
保護者様などお子さまについての対応	Q22	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.1	
	Q23	保護者や訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.1	
	Q24	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.1	
	Q25	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		施設全体での情報共有の仕組み、対応の判断基準、保護者様からの傾聴機会の増加、平等なコミュニケーションの心がけなど、日々の対応に関する重要なご意見をありがとうございます。 頂いたご意見を踏まえ、情報共有のルールやコミュニケーションのあり方について、スタッフ間で対話し、共通認識を持って取り組んでまいります。
満足度について	Q26	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.6	
	Q27	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		支援内容の充実、保護者様同士の交流機会の創出、チームワークの強化など、支援環境の整備や保護者支援、組織力向上に関するご提案、ありがとうございます。 これらの提案がより良い園づくりに繋がるよう、一つひとつ対話のテーブルに乗せ、実現に向けて検討してまいります。

アンケート実施期間:2025年8月20日～9月5日  
回答数 : 10

発達支援つむぎ香取台ルーム(児童発達支援)  
施設長 森田 隆之介